

日本がん看護学会 高額療養費制度の自己負担上限額引き上げに関する緊急声明

現在、国会審議中の高額療養費制度の自己負担上限額引き上げは、がん患者の経済的負担増大につながるものとして、大変憂慮いたします。日本がん看護学会は、がん患者の看護に携わる専門家の立場から、がんに罹患しても患者とその家族が安心して生活できるようにするため、以下のとおり緊急声明を發表します。

公的保険制度の維持と保険料の負担軽減の観点から、高額療養費制度の自己負担上限額は永久に据え置くことが難しく、いつかは見直さざるを得ないと考えます。しかし、このたび政府が提案する自己負担上限額は引き上げ幅が大きく、がん患者とその家族にとって過度な負担が生じ、治療のみならず治療と並行して行われる支持療法や緩和ケアにも大きな影響を与えることが危惧されます。

また、自己負担額の上限引き上げに伴ってがん患者やその家族の経済的負担がこれまで以上に増大し、患者の療養生活や社会生活の質に多大な影響をもたらすことが懸念されます。

以上のことから、今回の高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げについて、政策決定のプロセスにおいては、がん患者やその家族、専門家との対話を大切にした議論を十分に重ねていただくことを強く望みます。

2025年2月27日

一般社団法人 日本がん看護学会

新理事長 藤田 佐和

旧理事長 鈴木 久美